

# 笑顔未来につなげよう セーフコミュニティ こおりやま



世界保健機関推奨セーフコミュニティ  
郡山市は、2018.2.2に国際認証を取得しました。  
福島県内で初、国内15番目、世界391番目

2018.5.29 郡山市 市民部 セーフコミュニティ課  
※2018.4.1から「市民安全課」は「セーフコミュニティ課」へと名称を変更いたしました。

# 広がるSC

# 世界のSC活動

世界  
391コミュニティ  
(32カ国)

アジア  
128 コミュニティ  
(6-8 国/地域)

日本  
認証 15コミュニティ



2018年2月現在



| 開始    | 自治体名       | 認証年月     |
|-------|------------|----------|
| 2006年 | ①京都府亀岡市    | 2008年3月  |
| 2007年 | ②青森県十和田市   | 2009年8月  |
| 2008年 | ③神奈川県厚木市   | 2010年11月 |
| 2009年 | ④長野県箕輪町    | 2012年5月  |
| 2010年 | ⑤東京都豊島区    | 2012年11月 |
|       | ⑥長野県小諸市    | 2012年12月 |
|       | ⑦神奈川県横浜市栄区 | 2013年10月 |
| 2011年 | ⑧埼玉県北本市    | 2015年2月  |
|       | ⑨大阪府松原市    | 2013年11月 |
|       | ⑩福岡県久留米市   | 2013年12月 |

| 開始     | 自治体名           | 認証年月           |
|--------|----------------|----------------|
| 2012年  | ⑪滋賀県甲賀市        | 2016年2月        |
|        | ⑫埼玉県秩父市        | 2015年11月       |
| 2013年  | ⑬鹿児島県鹿児島市      | 2016年1月        |
| 2014年  | ⑭大阪府泉大津市       | 2016年10月       |
|        | <b>⑮福島県郡山市</b> | <b>2018年2月</b> |
| 2015年～ | ⑯埼玉県さいたま市      | 認証取得に向け活動中     |
|        | ⑰山梨県都留市        | 認証取得に向け活動中     |



WHO(世界保健機関)が推奨するけがや事故を予防する活動の国際認証制度

キーワードは「協働」と「データ」



住民、団体、行政が連携・協働して安全で安心なまちづくりに向けて、改善を加えながら活動を継続します。



科学的データに基づく継続的活動

セーフコミュニティでは、S+PDCAサイクルを活用し、科学的な根拠に基づく分析により予防活動に取り組みます。

# I-1 病気以外の外因による死亡者数

郡山市



乳幼児・高齢者は「窒息」、10歳～79歳は「自殺」が第1位

| 年齢層    | 1位 |      | 2位    |      | 3位     |      | 4位     |     | 5位     |     |
|--------|----|------|-------|------|--------|------|--------|-----|--------|-----|
| 0-9歳   | 窒息 | 3人   | 交通事故  | 2人   | 転倒・転落  | 1人   |        |     |        |     |
|        |    |      | 溺死・溺水 | 2人   | 煙・火・火災 | 1人   |        |     |        |     |
| 10-19歳 | 自殺 | 10人  | 交通事故  | 4人   | 中毒     | 2人   | 煙・火・火災 | 1人  |        |     |
| 20-29歳 | 自殺 | 70人  | 交通事故  | 7人   | 溺死・溺水  | 2人   | 転倒・転落  | 1人  |        |     |
|        |    |      |       |      | 窒息     | 2人   | 中毒     | 1人  |        |     |
| 30-39歳 | 自殺 | 70人  | 交通事故  | 9人   | 煙・火・火災 | 2人   | 転倒・転落  | 1人  |        |     |
|        |    |      |       |      | 中毒     | 2人   | 窒息     | 1人  |        |     |
| 40-49歳 | 自殺 | 92人  | 交通事故  | 17人  | 窒息     | 5人   | 中毒     | 4人  | 溺死・溺水  | 3人  |
| 50-59歳 | 自殺 | 106人 | 交通事故  | 18人  | 溺死・溺水  | 9人   | 窒息     | 8人  | 転倒・転落  | 5人  |
| 60-69歳 | 自殺 | 78人  | 交通事故  | 21人  | 窒息     | 16人  | 転倒・転落  | 12人 | 煙・火・火災 | 7人  |
| 70-79歳 | 自殺 | 47人  | 窒息    | 35人  | 交通事故   | 32人  | 溺死・溺水  | 22人 | 転倒・転落  | 14人 |
| 80-89歳 | 窒息 | 96人  | 転倒・転落 | 39人  | 溺死・溺水  | 33人  | 交通事故   | 19人 | 煙・火・火災 | 9人  |
|        |    |      |       |      | 自殺     | 33人  |        |     |        |     |
| 90歳以上  | 窒息 | 46人  | 転倒・転落 | 19人  | 溺死・溺水  | 7人   | 自殺     | 5人  | 交通事故   | 3人  |
| 全年齢    | 自殺 | 511人 | 窒息    | 212人 | 交通事故   | 132人 | 転倒・転落  | 93人 | 溺死・溺水  | 83人 |

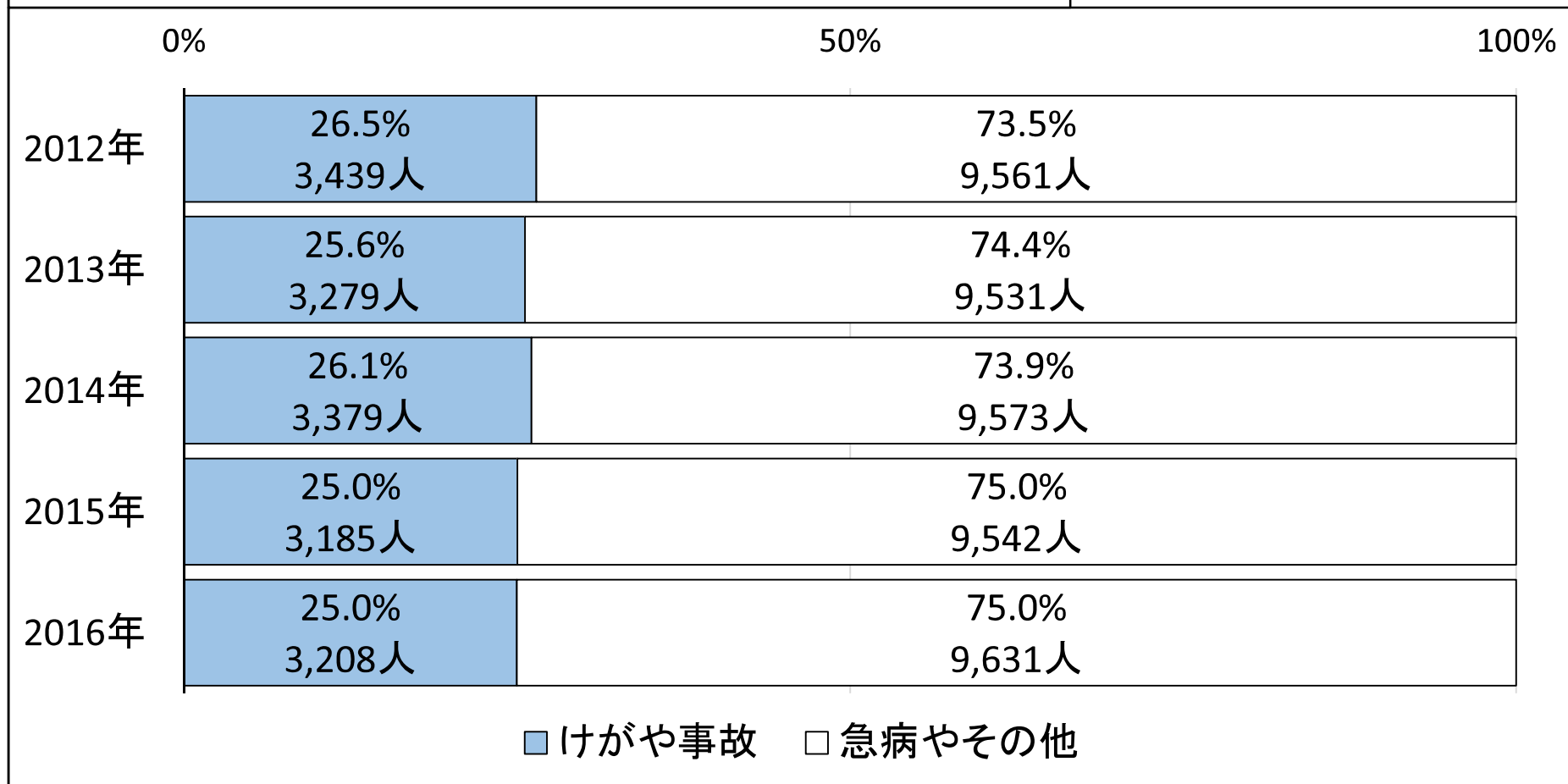
※2009～2015年の死者数を合計しています。

郡山市保健所「人口動態統計2009～2015年(死因帳票)」より

# I-2 救急搬送からわかるけがの状況①



郡山市の救急搬送に占めるけがや事故の割合の推移

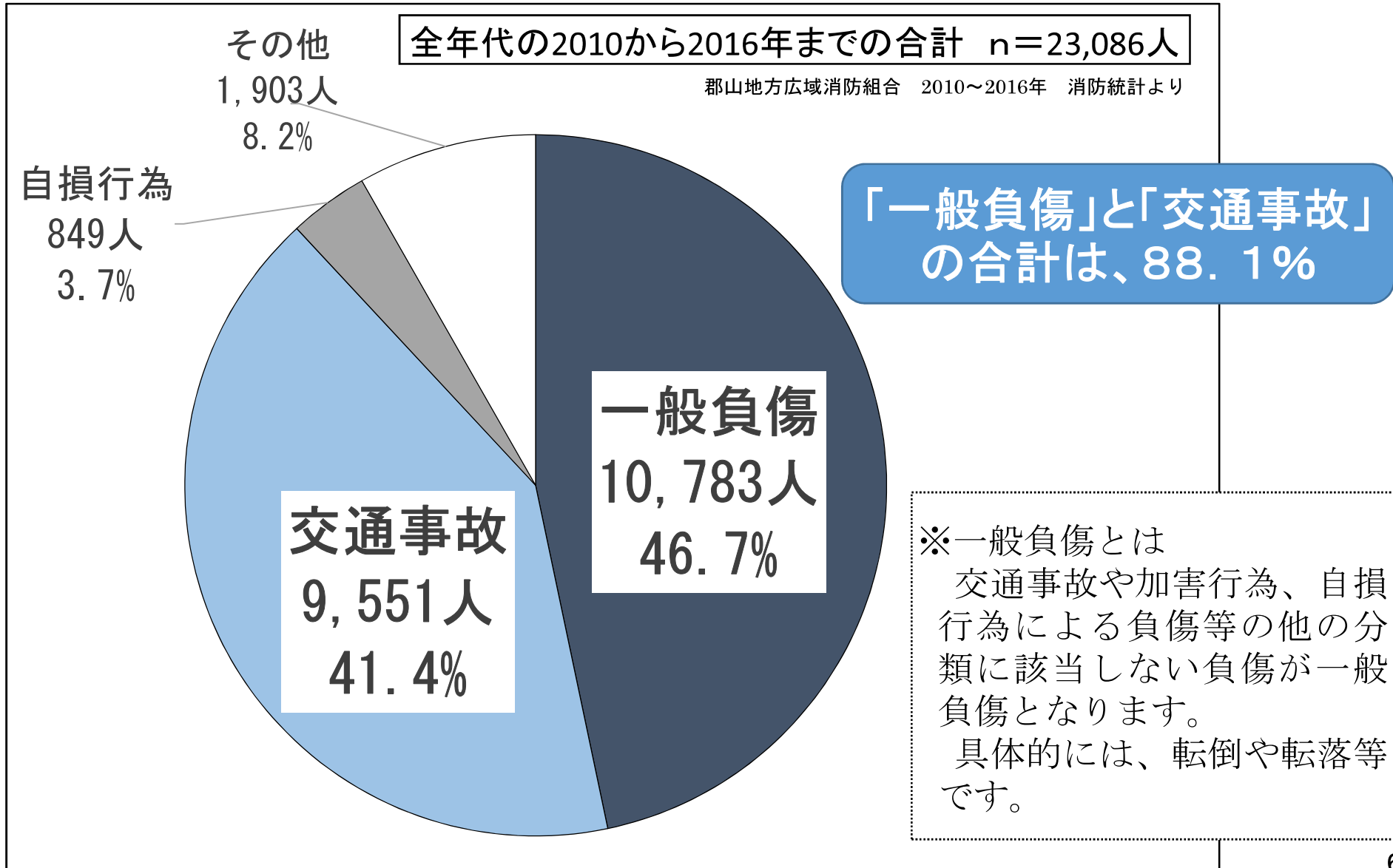


郡山地方広域消防組合 2010~2016年 消防統計より

けがや事故により救急搬送された人数は、救急搬送全体の約25%を占める状況が続いています。



### 郡山市の救急搬送者数 理由別人数及び構成比



# I-2 救急搬送からわかるけがの状況③

郡山市



## 郡山市のけがや事故による救急搬送要因の年代別順位

※2010から2016年の累計

郡山地方広域消防組合 2010～2016年 消防統計より

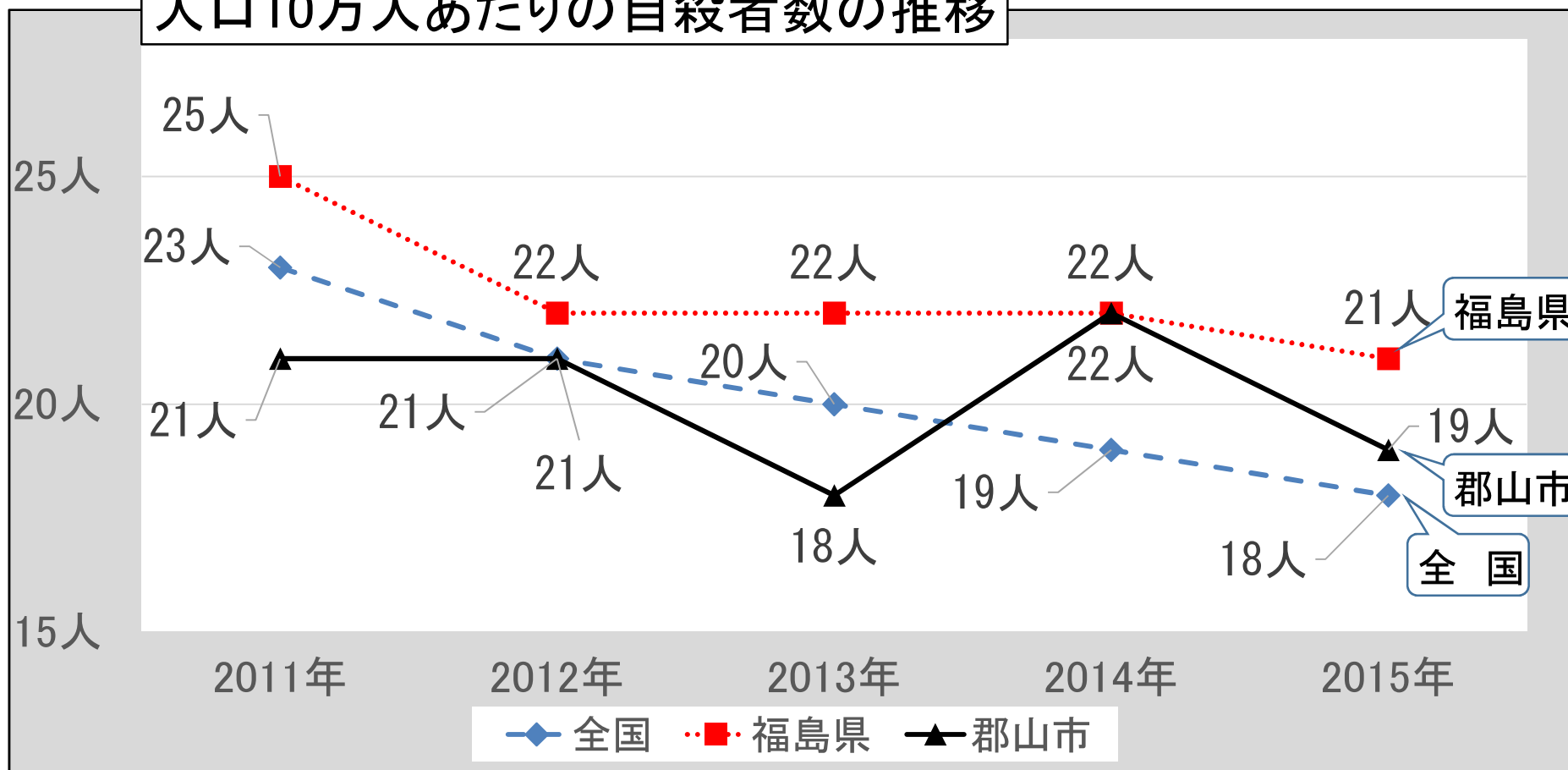
| 順位 | 乳幼児<br>(0-6歳) | 少年<br>(7-17歳)  | 就労世代<br>(18-64歳) | 高齢者<br>(65歳以上) |
|----|---------------|----------------|------------------|----------------|
| 1  | 一般負傷<br>877人  | 交通事故<br>1,129人 | 交通事故<br>6,355人   | 一般負傷<br>6,363人 |
| 2  | 交通事故<br>283人  | 一般負傷<br>499人   | 一般負傷<br>3,044人   | 交通事故<br>1,784人 |
| 3  | 加害<br>4人      | 運動競技<br>418人   | 自損行為<br>693人     | 自損行為<br>115人   |

「一般負傷」が多いのは、「乳幼児」と「高齢者」で、  
「交通事故」が多いのは、「少年」と「就労世代」です。





人口10万人あたりの自殺者数の推移

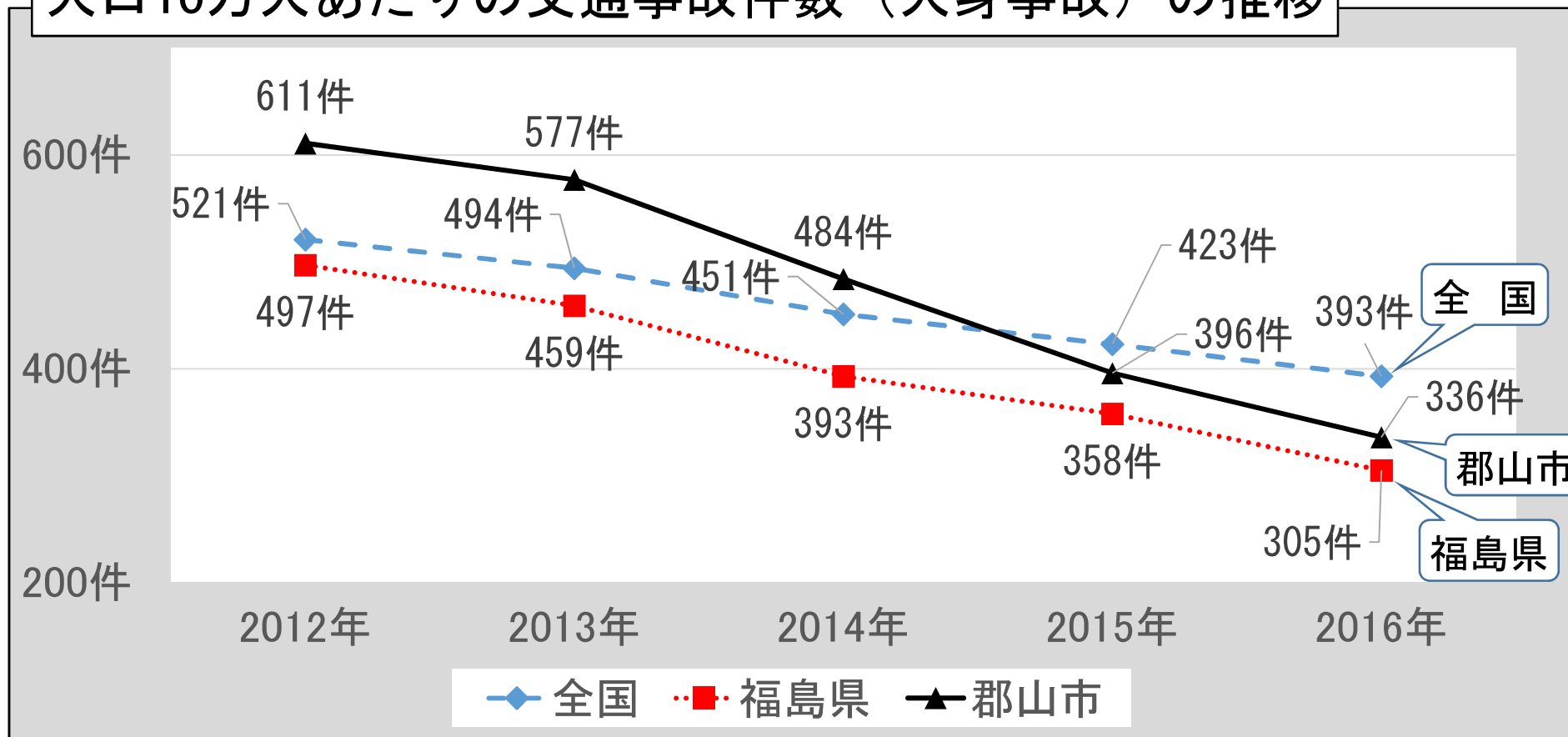


郡山市保健所「2011年～2015年 人口動態統計」より

郡山市は、2013年までは、全国及び福島県よりも少ない状況でしたが、2014年以降は、全国よりも多くなっています。



人口10万人あたりの交通事故件数（人身事故）の推移



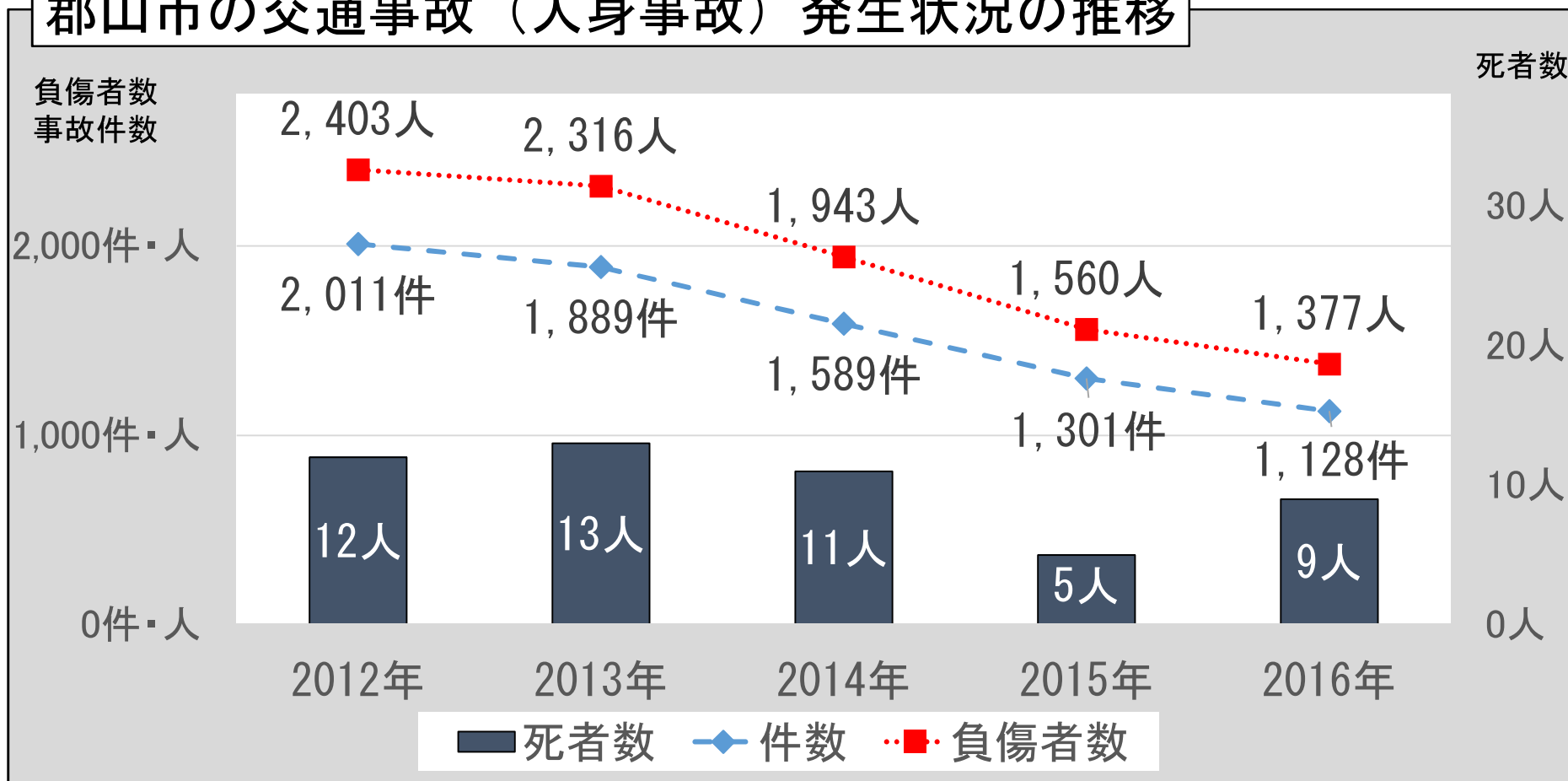
警察庁 警察白書2012～2015、福島県警察本部・郡山警察署・郡山北警察署2012～2016年 交通白書より

郡山市は、2014年まで全国及び福島県よりも多い状況でしたが、2015年に全国を下回りました。

# I-4 交通事故の発生状況②



## 郡山市の交通事故（人身事故）発生状況の推移

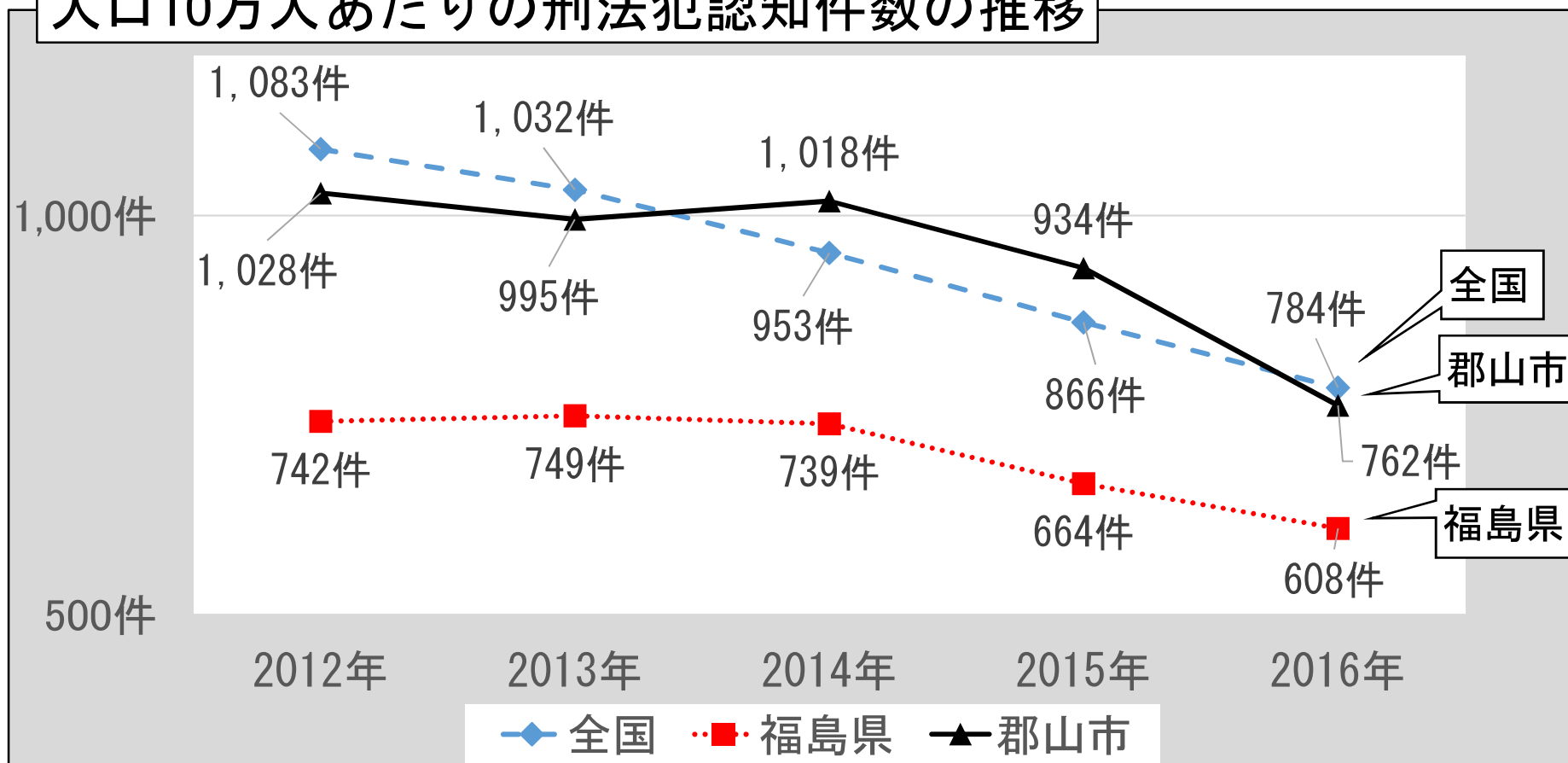


郡山警察署・郡山北警察署2012～2016年 交通白書より

郡山市の交通事故は、減少傾向にあり、2012年の2,011件から2016年には1,128件となり、この5年間で44%減少しています。



### 人口10万人あたりの刑法犯認知件数の推移

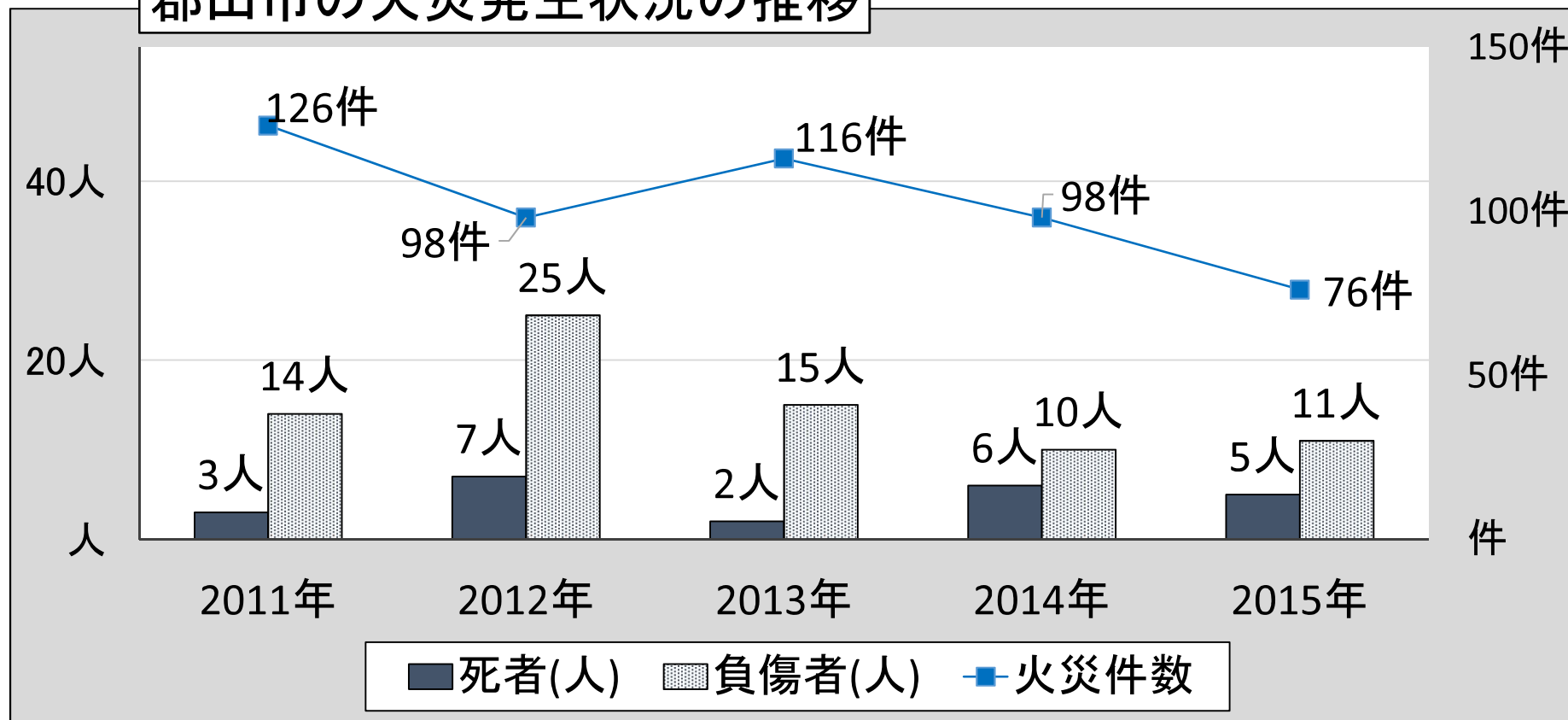


警察庁「2012～2016年 警察白書」、郡山警察署・郡山北警察署「2012～2016年 地域安全白書」より

郡山市の犯罪発生率は、全国とほぼ同様の傾向です。  
しかし、福島県よりも約30%も多い状態が続いています。



郡山市の火災発生状況の推移



郡山地方広域消防組合「2011～2015年消防統計」より

郡山市では、毎年100件前後の火災が発生していましたが、近年は減少が続いています。  
火災による死傷者数は、増減を繰り返しています。



## 過去30年間の主な台風災害、水害

| 発生年        | 降雨の原因    | 死者数 | 浸水建物数  | 避難者数   |
|------------|----------|-----|--------|--------|
| 1986 (S61) | 台風       | 2人  | 3,126件 | 1,119人 |
| 1998 (H10) | 梅雨前線の活発化 |     | 1,216件 | 5,119人 |
| 2002 (H14) | 台風       |     | 406件   | 2,067人 |
| 2004 (H16) | 台風       |     | 12件    | 928人   |
| 2010 (H22) | 発達した積乱雲  |     | 515件   | 2人     |
| 2011 (H23) | 台風       |     | 1,684件 | 1,763人 |

郡山市では、台風や集中豪雨等により、過去30年間で6回の大規模な被害が発生しています。



### 東日本大震災（2011.3.11発生）の被害状況

●人的被害 死者 1 名 重傷 2 名 軽傷 2 名

●建物被害

|      | 全壊    | 半壊     | 一部損壊   | その他 | 計      |
|------|-------|--------|--------|-----|--------|
| 公共施設 | 0     | 8      | 61     | 134 | 203    |
| 住家   | 2,294 | 18,749 | 32,062 | 168 | 53,273 |
| 店舗等  | 278   | 918    | 4,333  | 30  | 5,559  |
| 計    | 2,572 | 19,675 | 36,456 | 332 | 59,035 |

●道路・橋りょう・河川・農業施設等

| 亀裂  | 隆起  | 陥没  | その他（護岸崩壊等） | 計     |
|-----|-----|-----|------------|-------|
| 789 | 160 | 997 | 755        | 2,701 |

●水道施設（震災発生直後）

漏水箇所 約1,000か所 断水戸数 約37,000戸（断水人口 約97,000人）

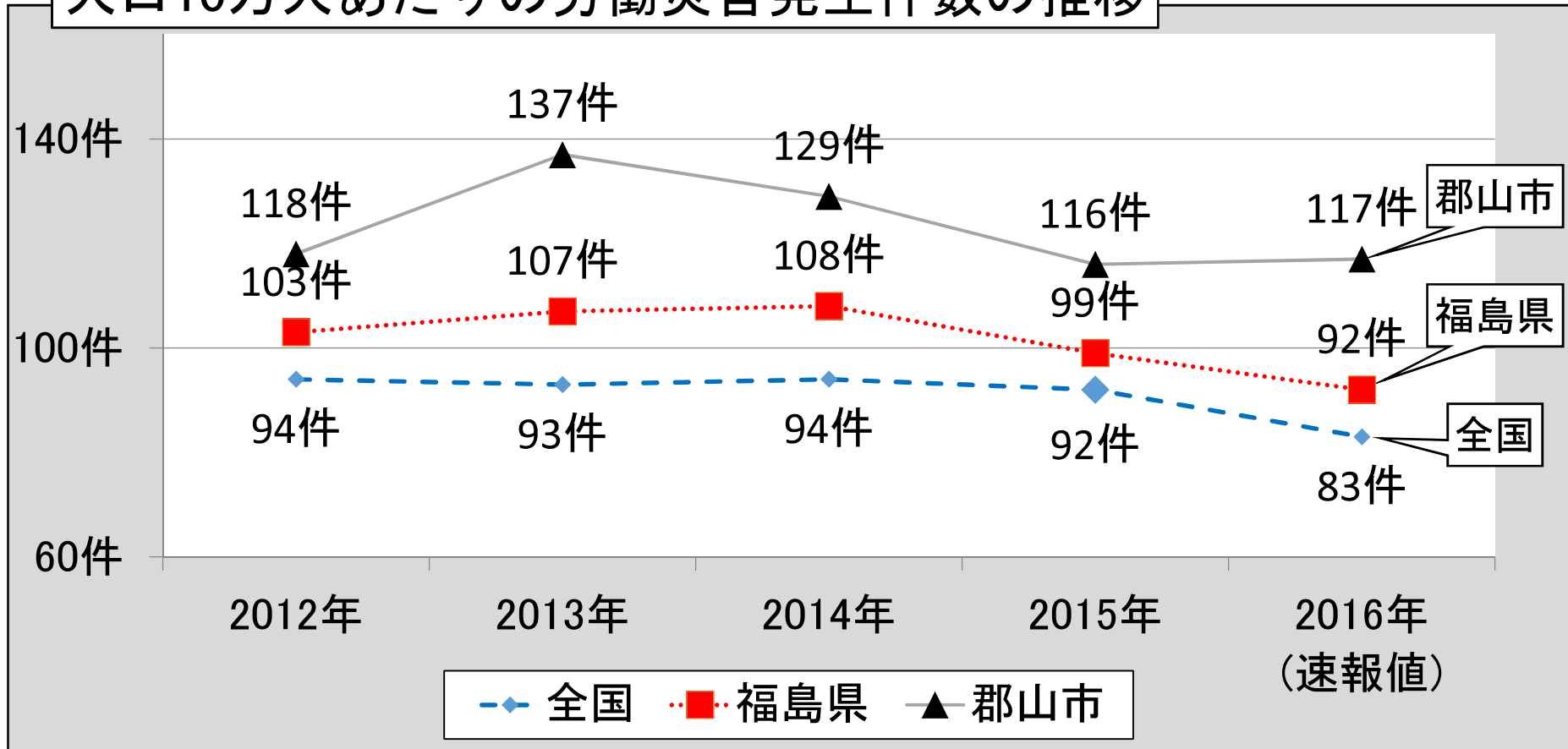
●下水道施設（震災発生直後）

被災管路延長 約7,050m マンホール等破損 536か所

東日本大震災は、郡山市にとっては、気象庁が観測を開始以来、初めての大規模な地震災害であり、甚大な被害をもたらしました。



人口10万人あたりの労働災害発生件数の推移



厚生労働省労働基準局・福島労働局・郡山労働基準監督署「2012～2016年労働災害発生状況」より

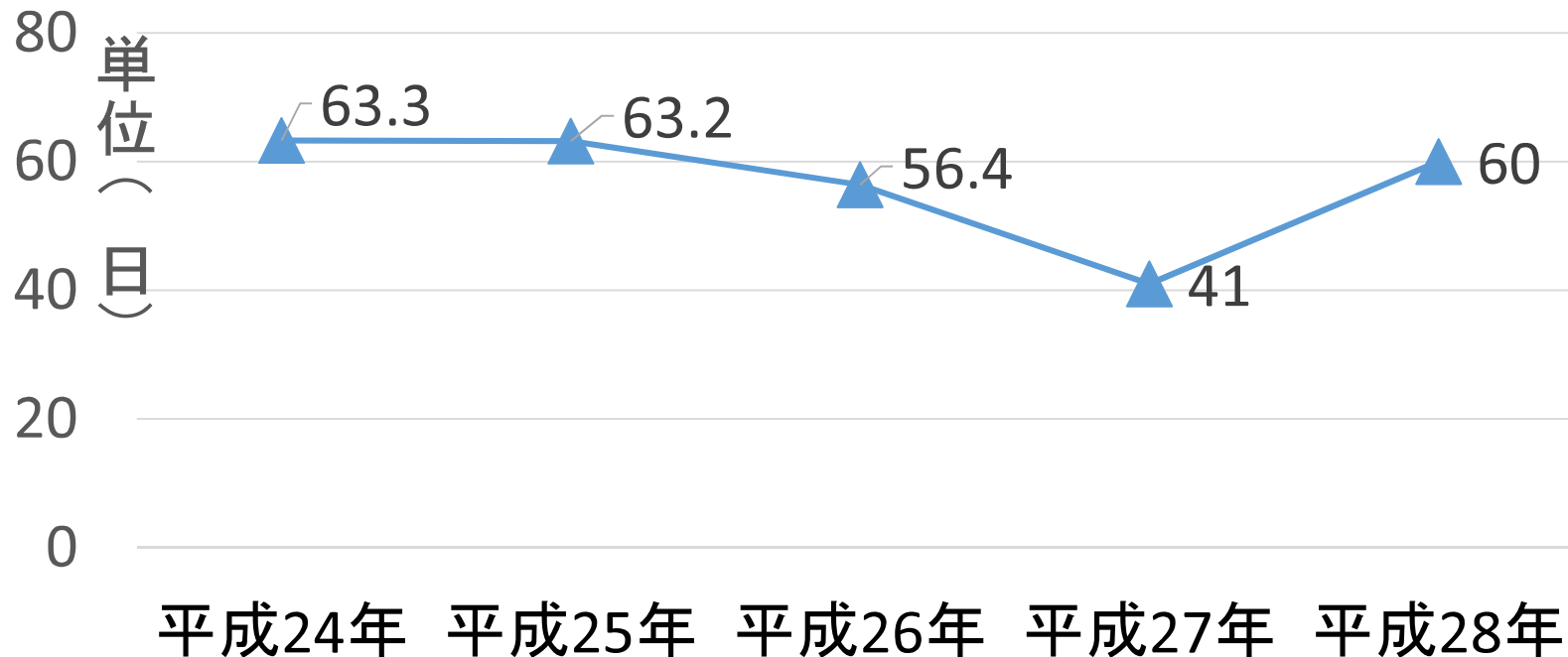
人口10万人あたりの労働災害の発生件数の推移では、郡山市は、全国及び福島県を上回る状況が続いています。





## 労働災害死傷者 1 人平均労働損失日数の推移

単位日



平成28年度厚生労働省労働災害動向調査(全国)

労災に遭うと、1人平均の労働損失日数は60日(H28年)

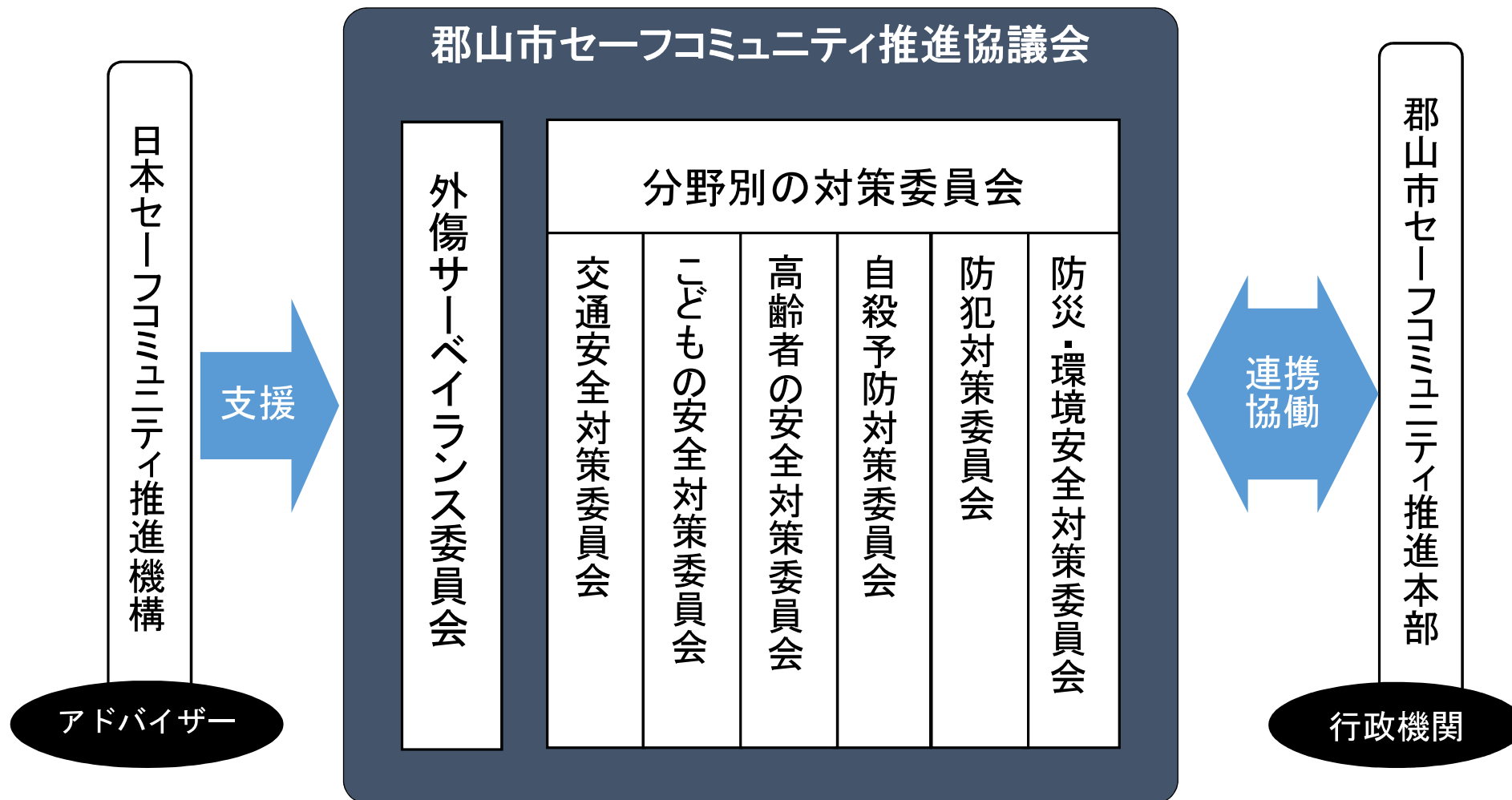
単純計算すると郡山市の労災による年間労働損失日数は

延べ23,500日

(郡山市年間労災件数392件×60日=23,500日)



## 分野横断的な組織による協働・連携



## （分野の垣根を越えた全市的なSC推進母体）

設立日 2015/5/26（開催状況 2015年2回、2016年1回 2017年2回）  
会員数 43団体、機関（代表者）会長は市長  
構成 市民活動団体、住民自治組織、教育団体、事業組合、行政、警察等  
役割 方針決定、活動の推進、啓発など



(各分野の課題解決を図る専門部会)

設置日 2015/7/8 (これまでに各対策委員会ごとに24~28回の開催)

|               |     |                |     |
|---------------|-----|----------------|-----|
| A 交通安全対策委員会   | 12人 | D 自殺予防対策委員会    | 11人 |
| B こどもの安全対策委員会 | 15人 | E 防犯対策委員会      | 15人 |
| C 高齢者の安全対策委員会 | 16人 | F 防災・環境安全対策委員会 | 16人 |



ワークショップを開催し、対策等を検討

### (データ収集、分析、検証を行う専門部会)

設置日 2015/5/26 (2015年度2回、2016年度2回、2017年度2回開催)

委員数 11人

構成 医師、大学教授(工学部)、保健所、警察、消防、労働等  
役割 けがや事故に関するデータ等の収集、分析、提供  
セーフコミュニティ活動の検証 など



各分野の対策委員会からの中間報告



対策の根拠となるデータの検討等

新規

## 自殺予防キャンペーン活動

【自殺予防の理解・関心を高めるための対策】

### 概要

9月の自殺対策強化月間等に合わせ、他団体との協働で、自殺予防の啓発を目的とした、街頭活動・周知活動の実施。

### 実施主体

自殺予防対策委員会・福島県理容生活衛生同業組合郡山支部  
郡山地区ハイヤータクシー協同組合・関係団体1ヶ所・郡山市議会議員有志・郡山市

### 対象

郡山市民等  
(通勤通学・タクシー利用の方)

### 活動内容

- ①配布チラシの内容を検討
- ②H29. 9. 11郡山駅前広場で街頭活動を実施。  
参加者:46名 時間:7時30分～8時30分 配布物:1,600枚
- ③H29. 9. 11～9. 30 組合を通じてタクシー車両にチラシの配置を依頼し、利用者へ配布。協力タクシー約500台



### SCをはじめてからの変化

- ・民間団体等との協働で、街頭活動及びタクシー車両における周知活動を実施。



拡充

### 介護予防教室の普及

【高齢者の転倒によるけがを防ぐための対策】

概要

いきいき百歳体操の普及促進  
地域のグループが自主的に運営できるよう支援

実施主体

住民団体・サークル・市・介護施設等

対象

高齢者

活動内容

- ①啓発チラシの配布
- ②口コミによる宣伝、活動の紹介
- ③体操の指導等の支援



### SCをはじめてからの変化

いきいき百歳体操実施会場数    2015年度    12    ➡    2017年9月現在    58

いきいき百歳体操参加人数        2015年度    205人    ➡    2017年9月現在    1,172人

**ポイント** 高齢者には口コミが有効～協働の力を発揮



今後は、郡山市内各地の協働による安全確保の取り組みの良いところをセーフコミュニティ活動に取り入れていく。

## 取組の例 郡山市日和田町「ふれあい防火教室」



### 地域の団体、機関、行政による協働の取り組み

地域団体 日和田地区社会福祉協議会

子育て支援 日和田保育所

消防署 日和田分署

社会教育 日和田公民館

行政 日和田行政センター

地域交流 日和田地域交流センター

- 目的
- ①防火、防災
  - ②子どもたちの育成、見守り活動の普及
  - ③高齢者のいきがい再確認

一言でいえば  
「まちづくり」

地域の将来を担う子どもたちを育む保育所と、地域社会をけん引する行政機関、災害から市民を守る消防機関が協力し、地域交流の場である交流センターを会場に、こどもと高齢者が時間と場所を共有し、微笑みとくつろげるような交流の中で、子どもたちには、「人を思いやる心」と「火事を起こさない心」を、高齢者の方々には、「こどもたちを見守る生きがい」を再確認していただく。

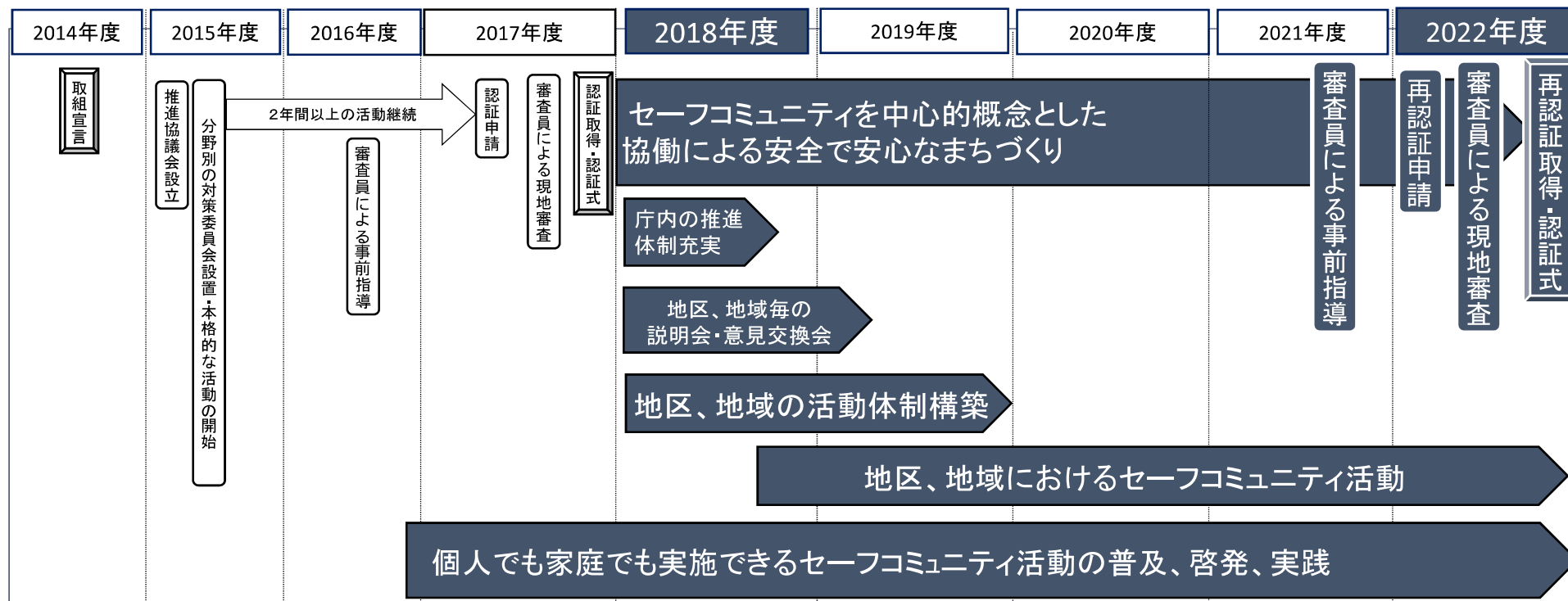




子どもたちの掛け声のもと  
全員による「防火の誓い」



# Ⅲ-2 長期的な展望② 5年後の再認証取得を目指して



## あすまち【公共計画編】 こおりやま

郡山市まちづくり基本指針

2018-2025  
The Basic Guidelines for Kaiyama City

### 第一階層【公共計画】

#### 官民共通の中長期指針【8年】

- 将来都市構想
- 分野別将来構想・施策体系の柱(大綱)
- 市民会議や地区懇談会の結果

### 第二階層【行政計画】

#### 行政としての実行計画【4年】(ローリング)

- 施策体系の詳細
  - ・施策毎の重点分野事業や達成目標
  - ・個別分野計画との関係
- 具体的事業推進計画

セーフコミュニティ活動を基盤的取組に位置づけ、5年後の再認証取得を目指します。



## 第一階層【公共計画】

プロローグ

指針の特徴・市民との協働による策定の経緯

第1章

本市の現状・予見可能性の高い課題への対応(将来の年表)

第2章

本市の目指す将来都市構想・分野別将来構想

将来都市構想

「みんなの想いや願いを結び、未来(あす)へとつながるまち 郡山」  
～課題解決先進都市 郡山～

施策体系 (分野別将来構想)

大綱Ⅰ

「産業・仕事の未来」(商業、工業、雇用、農林業)

大綱Ⅱ

「交流・観光の未来」(交流、文化、観光、シティプロモーション)

大綱Ⅲ

「学び育む子どもたちの未来」(子育て、教育、地域学習)

大綱Ⅳ

「誰もが地域で輝く未来」(市民協働、生涯学習、保健福祉、男女共同参画)

大綱Ⅴ

「暮らしやすいまちの未来」(環境、防災、市民安全、生活インフラ)

横断的取組

「復興・創生の更なる推進」

基盤的取組

「行政経営の効率化(カイゼン、ICT・デジタル・ガバメントDG推進《スマート市役所》)

「セーフコミュニティ活動の推進」

「連携中枢都市圏構想の推進」



- ・ **SDGs**（エスディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年の国連サミットで採択されたものであり、国連加盟国193カ国が2015年から2030年までの15年間で達成することを目標にしています。

WHO（世界保健機関）推奨の**セーフコミュニティ**の取組は、国連の**SDGs**の目標の一つである、「**持続可能な都市**」（**包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住の実現**）につながります。



## セーフコミュニティの5つの安全

1 家内安全

2 交通安全

3 労働安全

4 構内(校内)安全

5 体感安心